

よごうしょう がっこう 四郷小 学校だより

第 18 号
令和 2 年 12 月 3 日

6年生・修学旅行

今年度はコロナ禍のため、バスを増車し、隣の席を空ける等の対策をとった県内初の修学旅行となりました。行先は鳥羽・志摩方面です。自然教室同様、好天に恵まれた2日間となり、無事に終了することができました。自分は3号車を担当し、久しぶりに担任気分を味わうことができました。私の「班長さん！」の一声だけで、班人数および健康観察を確認し、さっと挙手ができ、ただちにバスを発車することができました。以下、私が発見した旅行中の素敵な出来事を紹介します。

<6年生編>

- 出発前、バス荷物積み込み方法を、後から来た6年生に進んで教えていたこと。
- 夕食後、ホテルの方に、「ごちそう様。」「おいしかったです。」と進んで言えていたこと。
- 朝食後、落とし物チェックや椅子の整頓を進んでしてくれた子がいたこと。
- ホテルでの夜、どの部屋からも体調不良等の緊急連絡がなかったこと。
- 困っている6年生に、いつでも進んで声掛けや支援をしていた子がいたこと。
- 世界に誇る鳥羽水族館において、一人一人が真剣かつ楽しんで見学できたこと。
- 聞いたこと・見たことを積極的にメモしていたこと。
- 自由行動時、どの班もはぐれることなく仲良く見学や買い物ができること。
- 自由行動時、どの班も先生に出会う時に手を振ってくれたり、声をかけてくれたりしたこと。
- おみやげの「赤福」がバスに届き、進んで後ろまで配ってくれたこと。
- バス内のビデオ鑑賞時、あまりにも静かだったこと。

<大人編>

- ガイドさんがいない分、各号車の運転手さんが一人で6年生のすべての荷物をトランクから出して並べてくれたり、アルコール消毒をしてくれたりしたこと。
- 鳥羽水族館飼育員の伊藤さんの講話から、「子どもの頃から水族館が好きだから、何よりも好きな仕事だから、つらいことがあっても今日までやりきることができた。自分が担当する生き物や、おすすめした5つをぜひ見てきてほしい。」の言葉。
- 笹川齋奉閣到着時、お迎えに来られた保護者の温かい出迎え。
- 笹川齋奉閣到着時、先生たちのチームワークと誘導體制の見事さ（手前味噌ですが…）。
- 11月30日の朝、ある交通ボランティアさんより「6年生のどの子からも修学旅行楽しかった！と聞きました」とのお電話。

<見学地編>

- ミキモト真珠博物館のお宝の数々。
- 鳥羽水族館の「へんな生きもの研究所」の解説のセンスの良さ、等々。

※6年生保護者の皆様、これまでのご準備やお子さんの健康管理、送迎等ありがとうございました。

